

(7) 多摩市



■ 市の概要(人・企業にとって魅力となる都市ブランド)

多摩市は、多摩丘陵地帯の北端部にあり、北の多摩川と南の多摩丘陵稜線に挟まれ、中央を多摩川支流の大栗川とその支流の乞田川が流れる起伏に富んだ一帯です。標高は多摩川沿いで約50m、天王森公園付近が約160m。東経139度27分、北緯35度38分に位置し、北は多摩川を境に府中市、東は稲城市、南は神奈川県川崎市と町田市、西は八王子市と日野市に接しています。令和2年12月で面積は21.01km²、となっています。

■ 沿革

明治22年4月1日の市町村制の施行とともに、旧8カ村と2つの飛び地が合併して多摩村が誕生し、昭和46年の市制施行により、多摩市になりました。この「多摩」という語の語源については諸説ありますが、多摩川の上流の峠で山梨県丹波山地方から起こったという説が最も有力です。上流の川の名である丹波(たば)川が生まれ、この川の名によって地域である郡名の多摩郡も称号するようになったといわれています。

● 企業へのサポート

■ 多摩市では、近隣他市と比べ、先駆的に創業支援を開始し、フロントランナーとして多摩地域の創業支援を牽引してきました。「創業・経営相談」や「志創業塾」を実施するほか、創業後の成長を支援する「経営塾」や相談員が事業所を訪問し、課題をお聞きする「市内事業所訪問」など、新たな支援メニューを用意し、創業者や市内事業者の皆さまの支援を行っています。
詳細は、市ホームページ (<http://www.city.tama.lg.jp/>) から御確認ください。

・ 創業・経営相談



・ 志創業塾



・ ビジネス支援施設認定制度



・ ビジネス支援施設創業者利用料補助金



・ 産業競争力強化法に基づく創業支援等事業計画と優遇措置



・ 創業・経営支援関係機関



■ 多摩市は、ゆるやかな丘陵地を中心に、水と緑の豊かな自然に恵まれた、多摩ニュータウンの中心都市です。首都圏のベッドタウンとしてニュータウン開発がはじまって以来、快適で便利な住宅都市建設が、計画的に進められてきました。

現在では、単なる住宅都市としてだけではなく、業務・商業・文化・情報・交通などのさまざまな機能を備えた都市となっています。

そこで、このまちづくりをよりいっそう進めるために、多摩市では進出される企業に対し、1億円(本社の場合には1億2千万円)を上限として固定資産税・都市計画税の8割相当額(本社の場合には10割相当額)及び市内に住所を有する常用雇用者数の増加により算出した額を奨励金として最大5年間交付する優遇策を設け、引き続き企業の立地を支援しています。

ただし、奨励金を受けるには、面積要件や常用雇用者数などいくつかの要件があります。詳しくは以下の企業誘致制度のご紹介からご覧ください。

・ 企業誘致奨励のご紹介～多摩市への立地をお考えの皆さま～



■ インフラの特色

多摩市は、東京都のほぼ中央に位置し、多摩ニュータウンで知られる日本最大規模のニュータウンを中心とした、多摩丘陵の強固な地盤に、高水準な都市基盤と、自然と調和したゆとりある住環境が計画的に整備された街です。京王線・小田急線の2路線で都心にダイレクトアクセス、多摩モノレールで中央線方面へと、多彩な鉄道ネットワークにより、通勤・レジャーなどのお出かけも快適・便利です。道路も広々、高速道路へもスマートアクセスが可能です。

■ 交通

市内には京王線、小田急線、多摩都市モノレールが乗り入れ、東西南北ともにアクセスは軽快です。新宿駅から聖蹟桜ヶ丘駅、永山駅、多摩センター駅へは約30分で到着でき、通勤、通学の利便性が高いです。

一方、道路交通では、首都圏の大動脈である「国道16号」にも近く、中央、東名高速道路各インターチェンジの利用が可能です。

以上のとおり、本市は交通利便性に恵まれた立地特性を有しています。

■ 日本一長い遊歩道・多摩よこやまの道

多摩ニュータウンの街に網の目のように張り巡らされた遊歩道は全長約41kmにおよびます。特色ある公園や遊歩道と遊歩道を結ぶおもしろい名前の橋、眺望ポイントや文化財、団地の移り変わりなど、見所スポット・立ち寄りスポットが満載です。

万葉集に「多摩の横山」と詠まれた多摩丘陵の尾根部に位置し、全長は約10kmにおよびます。平成27年には、新日本歩く紀行100選「歴史の道」にも認定されました。道の途中には、多摩市域を一望でき、天気が良ければ富士山まで望める「防人(さきもり)見返りの峠」や多摩ニュータウンの街並みを見渡せる

「展望広場」などの展望ポイントのほか、随所に四季折々の自然を楽しむことができる自然観察ポイント、史跡や伝説などの歴史ポイントなどがある見所満載の散策コースです。



■ その他の特色ある地域資源

高度な都市基盤の整備

多摩センターを中心としたエリアは計画的な街づくりが進められています。

地盤が安定しているうえに、鉄道、都市モノレールの建設、広幅員の道路や歩行者専用道路の整備、下水道や公園緑地の整備など、都市基盤が十分に整備され、高度な街づくりが進んでいます。

また、多摩センター地区は、無電柱化、景観に配慮した街づくり等、多摩ニュータウンの中心地区として整備が行われています。

災害への強み

多摩市内のニュータウン地域は多摩丘陵のほぼ中央に位置し、海岸や河川から離れており、津波や洪水といった降水被害や沿岸部一帯が抱えている液状化の心配がなく、自然災害に強い街といえます。東京都における「地震に関する地域危険度測定調査」においては、多摩市内のどの地域においても危険度が低くなっております。

・ 地震に関する地域危険度測定調査

